



JARLクラブ登録番号 10-4-68 ↓ replace [(a)] with [@]
 発行 JR3KQJ 中島 昌己 (kcj-p(a)kcj-cw.com)
 編集 JH3HGI 吉村 豊樹 (thekey(a)kcj-cw.com)
 印刷 JH8CBH 佐々木 朗
 レポート管理 JA20LJ 岩川 吉伸 (kcj-rpt(a)kcj-cw.com)
 会報発送管理 JH3EZV 勝本 健
 会員部 JA7QLP/1 工藤 博昭 (kcj-mem2(a)kcj-cw.com)
 会計 JA1COP 佐々木広武
 郵便振替口座 00860-1-13444 名義：全国CW同好会
 KCJホームページ <http://www.kcj-cw.com> クラブ局：JR8YLY

【カラー版のダウンロード】

KCJ ウェブサイトの日本語ページ (http://www.kcj-cw.com/j_index.htm) から この会報のカラー版をダウンロード出来ます。(PDF ファイルです)

【関ハム 初出展】

KCJでは東京の「ハムフェア」に2005年からブースを出展してきましたが、「関ハム」には出展したことがありませんでした。

今年、3エリアメンバー有志が相談の上、一度出展しよう、ということになりました。

ハムフェアでの経験を活かして、関ハムでもCWの面白さ、KCJのPRをしたいと考えています。どうぞごゆっくりご覧ください。

【KCJ コンテストへの誘い】

KCJ では毎年2月に「トップバンドコンテスト」、8月に「KCJ コンテスト」を主催しています。

これらのコンテストは全国の CW ファンの間ではメジャーなコンテストとして、毎回多くの皆さんに参加していただいています。

今年も8月に「第33回 KCJ コンテスト」を行います。

以下にルールを記載しますので、皆さん、ふるってご参加くださいますよう、ご案内致します。

【第33回KCJコンテストルール】

<主催> 全国CW同好会 (KCJ)

<日時> 2012年8月18日(土) 21:00JST～8月19日(日) 21:00JST (時報)

<参加資格> アマチュア局およびSWL、ただし、特別記念局、特別局(8N,8J,8Mで始まる局)は、エントリーされてもチェックログとして扱います。

<部門> 国内局:シングルオペ(注1) マルチバンド、シングルバンド、
マルチオペ(注2) マルチバンド

国外局・SWL:マルチバンドのみ

注1: コンテストに関するすべての操作を一人で行うこと。

注2: 個人局のゲスト運用はマルチオペ部門とする。

<周波数> 1.9～50MHz 帯、(3.8MHz 帯及びWARC バンドは除く)。1.9MHz と 50MHz 帯以外はJARL コンテストルールに準ずる。1.9MHz 帯は1810～1820kHz と 1908～1912 kHz を推奨周波数帯とするが、国外局との交信時は1820～1825kHz を使用できる。50MHz 帯は50.050～50.070MHz を推奨周波数帯とするが、国外局との交信時は50.070～50.090MHz を使用できる。

<電波型式> CW

<交換 NR> 国内局: RST+運用場所の都府県振興局名略称(表参照)

国外局: RST+大陸名略称(表参照)

注3: 運用場所が常置場所と異なる場合はJA8AJE/1 とポータブル表示を付加すること

注4: 北海道の支庁が振興局へ編成替えされました。名称が変更されたオホーツク総合振興局(旧網走支庁)はOHとし、他の振興局のKCJコードには変更無いものとする。

- <得点> 国内局:バンドごとに異なる国内局との交信 1 点・国外局との交信 5 点。国外局:バンドごとに異なる JA 局との交信 1 点・それ以外は 0 点
- <マルチ> 国内局:バンドごとに異なる都府県振興局・大陸の数、
国外局:バンドごとに異なる都府県振興局の数
- <総得点> (バンドごとに集計した得点の合計) × (バンドごとに集計したマルチの合計)
- <提出書類> 交信データを記載したログおよびサマリーシート。日本国内で運用した局は交信相手局の場所によらず交信時刻をすべて JST で、また日本国外で運用した局はすべて UTC で記入。サマリーシートには参加部門、連絡先、氏名、およびマルチ×得点を計算して得た総得点を記載する。重複チェックシートは不要。複数のバンドで交信してシングルバンド部門にエントリーする場合は、他バンドの交信記録をチェックログとして提出すること。マルチオペの場合は、コンテスト中に運用した者のコールサインあるいは姓名、無線従事者資格をサマリーシートに明記すること。テキスト形式の e-mail(JARL 方式可)による提出も可。詳細は KCJ web site(下記 URL)で確認のこと。SWL はログ記載局の交信相手局コールも記載のこと
- <ログ照合> 提出されたログを相互に照合し一致している場合にのみ得点とマルチを認める。相手局のログが提出されていない時は得点にならない
- <表彰> 各部門の上位 5%でかつ 5 位以内の全国入賞局、および各部門の上位 50%以内でかつ各マルチエリア 1 位のエリア入賞局、ただしチェックログ未提出局は表彰しない
- <副賞> シングルオペ部門を通じて最高得点を上げた局に授与する。但し過去 5 年以内に KCJ コンテスト又は Top Band コンテストのいずれかで副賞授与済みの場合は次点局とする
- <禁止事項> ①クロスバンド・クロスモードによる交信
②シングルオペの 2 波以上の同時発射
③マルチオペの同一バンドにおける 2 波以上の同時発射
④マルチオペの複数地点からの運用
⑤マルチエリアの境界を越えての移動運用
- <失格> 電波法、運用規則および KCJ コンテストルールに違反し、または秩序を著しく乱したと大会が判断した場合
- <締切> 2012 年 9 月 19 日 (消印有効)
- <提出先> 郵送:〒501-0105 岐阜市河渡 5-93-1 白木 博(JA2MYA)
email:kcj-log(a)kcj-cw.com ((a)は@に置き換える)、または下記 URL 内から
- <その他> e-mail でのログ提出局には結果を記載した電子メール会報を送る。提出するログに切手 180 円分を同封した局には結果を記載した会報を送る
- <質問> ja8aje(a)jarl.com ((a)は@に置き換える) 笠原へ
<公式サイト> <http://www.kcj-cw.com/>

【表】KCJ コンテスト・都府県振興局略称および大陸名略称

宗谷総 SY	留萌 RM	上川総 KK	空知総 SC	石狩 IS	根室 NM	後志総 SB
十勝総 TC	釧路総 KR	日高 HD	胆振総 IR	桧山 HY	渡島総 OM	オホーツク総 OH
青森 AM	岩手 IT	秋田 AT	山形 YM	宮城 MG	福島 FS	
新潟 NI	長野 NN					
東京 TK	神奈川 KN	千葉 CB	埼玉 ST	茨城 IB	栃木 TG	群馬 GM
静岡 SO	岐阜 GF	愛知 AC	三重 ME			
京都 KT	滋賀 SI	奈良 NR	大阪 OS	和歌山 WK	兵庫 HG	
富山 TY	福井 FI	石川 IK				
岡山 OY	島根 SN	山口 YG	鳥取 TT	広島 HS		
香川 KA	徳島 TS	愛媛 EH	高知 KC			
福岡 FO	佐賀 SG	長崎 NS	熊本 KM	大分 OT	宮崎 MZ	鹿児島 KG
小笠原 OG	南鳥島 MT					沖縄 ON
アジア AS	オセアニア OC	ヨーロッパ EU	北米 NA	南米 SA		
アフリカ AF						

Members activity report (2012 May)

今月のトピックス

BY JA20LJ/QRP

国内 E-SP 連日 大盛況で 仕事の合間にハイバンドでQ R V 5wの電波 届いているはずなのに
 なぜか応答なしの局もチラホラ JARL BUREO から カードが18cm到着
 久方ぶりのJ03OMA大幅UP DXも超珍局がUP 太陽の活動 あまり期待できず 残念

KCJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	5.6	SAT	-	-	UP	REP
JR3KQJ	649	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	44	41	32	11	4	47	-	-	2	1205
JA2MYA	589	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	41	27	7	0	0	44	-	-	-1	1205
JA5CUX	575	46	47	47	47	47	47	47	46	46	44	31	23	15	0	0	42	-	-	8	1205
JH3HGI	542	47	47	47	47	47	47	47	45	45	38	22	14	2	0	0	47	-	-	0	1203
JE1KNT	517	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	15	18	8	0	0	7	-	-	0	1010
JA5NSR	497	47	47	47	47	47	47	47	47	47	43	20	11	0	0	0	0	-	-	1	1205
JA7TJ	423	46	47	47	47	47	46	47	45	47	0	2	2	0	0	0	0	-	-	0	1203
J03OMA	364	35	47	47	38	21	43	32	21	30	46	2	2	0	0	0	0	-	-	117	1205
JA2FEA	319	0	1	47	47	46	41	47	30	30	0	14	16	0	0	0	0	-	-	1	1205

AJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	5.6	SAT	-	-	UP	REP
JR3KQJ	18009	1597	1603	1609	1615	1602	1594	1594	1561	1507	1109	583	431	162	43	19	1380	-	-	0	1204
JA8AJE	12696	999	1432	1547	1577	1482	1241	1291	1014	1054	1034	21	4	0	0	0	0	-	-	23	1203
JA2MYA	11576	1460	1581	1608	1563	1229	938	809	571	536	544	375	111	16	0	0	235	-	-	0	1204
JE1KNT	11011	1141	1411	1564	1424	1064	1050	833	772	631	472	259	304	79	0	0	7	-	-	348	1201
JA5NSR	10926	1093	1364	1473	1519	1256	1190	976	976	628	295	114	42	0	0	0	0	-	-	86	1204
JH3HGI	8107	527	1152	1561	1368	657	590	492	414	341	293	141	74	5	0	0	492	-	-	0	1205
J03OMA	2610	106	563	911	137	47	192	105	52	105	388	2	2	0	0	0	0	-	-	1112	1011
JA2PYD	343	0	82	202	0	25	0	25	0	3	6	0	0	0	0	0	0	-	-	180	NEW

WAZ	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	SAT	UP	REP	DXCC	CFM	WKD	UP	REP
JA20LJ	377	27	40	40	40	40	40	40	40	40	17	13	0	1203	JA2MYA	329	330	0	1205
															JA2FEA	249		3	1205
DXCC	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	SAT	UP	REP	JA7TJ	225		0	1203
JA2MYA	1534	8	106	167	172	284	198	238	172	175	11	3	2	1205	JR3KQJ	212		0	1203
JR3KQJ	794	26	58	96	86	134	81	111	64	88	15	35	0	1203	JE1KNT	202	210	18	1205
JA5CUX	492	2	13	41	45	123	22	161	10	70	4	1	55	1205	JA5CUX	250	260	12	1205
J03OMA	152	0	5	55	4	0	26	35	11	12	4	0	112	1205	JA5NSR	110		0	1203
															J03OMA	73	76	38	1205
IOTA	Total	AF	AN	AS	EU	NA	OC	SA	-	-	-	-	UP	REP	JA2PYD	0	5	0	1205
JA8AJE	347	19	8	90	54	50	113	13	-	-	-	-	0	1203					
JA5NSR	107	16	1	10	22	23	29	6	-	-	-	-	0	1204	JCA	CFM	WKD	UP	REP

JA2PYD	0	5	0	1205	JR3KQJ	7012		0	1203
JA2MYA	5867		0	1203	JA2MYA	5867		0	1203
JH3HGI	3994	4639	0	1203	JH3HGI	3994	4639	0	1203

暦年ACT	12年×1.0	11年×0.75	10年×0.50	09年×0.25	UP	REP	JA2MYA	5867	0	1203	
Total KCJA Zone		KCJA Zone	KCJA Zone	KCJA Zone	UP	REP	JH3HGI	3994	4639	0	1203
JR3KQJ	1516	385	88	551	154	541	146	538	145	91	1205
JA8AJE	1024	199	81	385	114	395	94	420	81	51	1205
JA2MYA	942	213	58	312	117	379	92	416	110	18	1205
JH3HGI	522	129	7	272	8	194	6	299	6	19	1205

JCC	CFM	WKD	AUX	UP	REP	JCG	CFM	WKD	AUX	UP	REP	JA2MYA	915	65	-4	1205
JA2MYA	880			0	1203	JR3KQJ	577			0	1203	JH3HGI	509	106	0	1203
JH3HGI	871	874		0	1203	JA2MYA	577			0	1203	JA5NSR	100		0	1203
JA5NSR	856			0	1203	JA5NSR	576			0	1203					
JA7TJ	856			4	1205	JH3HGI	573	573		0	1203	MBR	QS0	EB	UP	REP
JR3KQJ	855			0	1203	JA7TJ	573			0	1203	JR3KQJ	155	60	0	1203
JA2FEA	797			2	1205	JA2FEA	509			0	1112	JH3HGI	132	57	-1	1205
J03OMA	661	683		118	1205	J03OMA	292	303		71	1205	JA20LJ	130		0	1203
JA2PYD	206			184	1205	JA2PYD	137			137	New					

WPX	CFM	WKD	UP	REP
JA8AJE	1820		2	1205
JA5NSR	755		0	1203

月間ACT

Call	KCJA	STN	Band	Zone	STN	Band	Day	Call	KCJA	STN	Band	Zone	STN	Band	Day
JA2MYA	9	446	10	9	18	7	31	JA7TJ	169	607	9	43	71	8	29
JH3HGI	53	85	6	6	12	2	8	JA8AJE	-	322	10	-	82	4	15
JR3KQJ	-	873	14	-	19	7	22	JA2FEA	-	85	5	-	101	7	26

WKD & HRD※ by JA2MYA(1), JA5NSR(2), JA7TJ(3), JE1KNT(4), JA5CUX(5)

3.5	VK4PN(3)														
7	9M2DVR(3)	BG4NMT(1)	BV2B/7(3)	HK1NA(3)	RP67SD(1)	V73NS(1)	VK9PN(2,3)	VR2EH(3)	XX9E(2)						
	ZL2J(3)														
10	9M2DVR(3)	A5A(4)	DS1RLZ(1)	T88TF(3)	XX9E(4,5)		YJ0VK(3)								
14	706T(1,2,5)	7Z1HL(2)	A5A(5)	EG3FAS(2)	HD2A(3)	HP1WW(2)	JY4HY(4)	KL7RA(3)	P40H(2)						
	PJ4/LY9Y(4,5)		TA3D(2)	VK7CW(4)	XX9E(2,5)										
18	3A2LF(2)	403A(4)	603A(4)	706T(1)	9H3UT(4)	A5A(4)	EI2KCM/JA0ASP(4)		FK8CE(3)						
	FK/F2CW(2)	MI0GRG(4)	V85SS(3)	XX9E(1,2,5)											
21	3Z2012	4J12SONG(5)	600CW(1,5)	603A(2,5)	706T(1,2)	7X4AN(4)	7X2KAR(2)	A5A(2,4)	A65BD(2)						
	CR1X(4)	F08WBB(3)	HA100CG(5)	HB0/DJ2IA(5)	HC2AC(1)	JY5HX(2)	RP67B(1)	V85SS(3)							
	XX9E(1,2,5)	YB0ECT(3)													
24	600CW(1)	603A(4)	706T(1,5)	E77DX(3)	VR2XLN(3)	XX9E(5)	YB1ALL(3)								
28	603A(4)	706T(5)	9M2MT(3)	V85SS(3)	XQ1KZ(3)	XX9E(2,5)	Z21BB(4)								
50	BA4SI(1)														

レポーターコメント

JE1KNT 毎朝5時に起きて、未交信Entityを捜していますが、V-DP(固定)では苦しいです。もっとCondxが上がることを祈ります。

JA8AJE 5月には爆発的Esに出会っていません。今年はどうなるのかな?

DXCC	No	Call	CFM	WKD	AS	OF	WASA	No	Call	HF	VU	SUM	AS	OF
	1	JA20LJ	343	343	1203			1	JG3LGD	6504	76	6580	1112	
	2	J11DHY	336		1003			2	JA8AJE	2588	58	2646	1205	
	3	JA2MYA	329	330	1205			3	JA20LJ	2054	94	2148	1205	
	4	JG3LGD	320		1112			4	JA2FEA	1059	0	1059	1205	
	5	JA8AJE	285		1102			5	JA2MYA	915	65	980	1205	
	6	JA1PHE	284		0706			6	JH1NXU	676	70	746	1204	
	7	JG6CDH	268		0705			7	JA1TCF	593	84	677	1201	
	8	JK1EBA	255		0908			8	JE6QFP	495	140	635	1003	
	9	JA5CUX	250	260	1205			9	JH3HGI	509	106	615	1205	
	10	JA2FEA	249		1205			10	JM1HUX	413	44	457	1006	
	11	JA7TJ	225		1205			11	JA5NSR	100	0	100	1205	
	11	JR3KQJ	212		1205									
	13	JE1KNT	202	210	1205		KCJ-MBR							
	14	JA8PON	155		1203			No	Call	QSO	EB	SUM	AS	OF
	15	JH7VOT	129		1007			1	JR3KQJ	155	60	215	1205	
	16	JA9CZJ	124		0701			2	JH3HGI	132	57	189	1205	
	17	JH1NXU	120	170	1204			3	JE6QFP	120	43	163	1003	
	18	JA5NSR	110		1205			4	JA5CUX	89	56	145	1009	
	19	J030MA	73	76	1205			5	JH3EZV	114	25	139	0712	
	20	JA2PYD	0	5	1205			6	JA20LJ	130	0	130	1205	
								7	JH4RGH	117	10	127	0610	
								8	JE1KNT	101	6	107	1010	
WPX	No	Call	CFM	WKD	AS	OF								
	1	JG3LGD	2345		1104									
	2	JA8AJE	1920		1205									
	3	JA5NSR	755		1205									
	4	JA9CZJ	411	587	0701									

【メンバー紹介】

毎月の会報で会員の紹介をしていますが、ここでは過去の紹介記事から一部の会員をピックアップして紹介します。

（JA4BL0 出羽吉次さん）

JA4BL0 出羽吉次さんは、大正8年のお生まれで93才になられます。



ご高齢のため、最近ではQRVすることも少なく、QRT状態であると仰せですが、お話を伺うと、その力強く正確で且つ礼儀正しい話し振りは、大正、昭和、そして平成の時代を闊歩された武士の面影を彷彿いたします。

第二次世界大戦中、氏は日本海軍において、対特殊潜航艇の通信にも従事され、”トラ

チェックインされ、縦振り電鍵での力の入った信号は記憶に新しいところです。

今は、奥さんと子供さん方、お孫さん、曾孫さん、そして玄孫さんに囲まれて素晴らしい余生を過ごしておいでです。（注：この記事は出羽さんからの聞き取りをもとに担当者による紹介としました）



ラトラ”信号を受信されています。（注：このエピソードは在阪テレビ局「毎日放送」のニュースの中で特集として紹介されました）

戦後は全国和文電信愛好者のメンバーとして、和文モースに親しまれ、KCJのOAMでは毎週のように



（JA0GZ 西川敏郎さん）

【私はなぜハムの道にのめり込んだか】

私がハムにのめり込んだ経緯とその推移を申し上げます。

時は旧制中学3、4年の頃のことです。友人から借りた本に「あなたも私設無線局の局長になれる」というような記事を見つけました。内容は自作の送信機で世界と交信できるというものでした。

見た瞬間、私は強烈な衝撃を受けました。



（写真：左 JA0NCE、右 JA0GZ）

この本は明日には返す約束でしたので、今晚中に丸写しをしなければと考えました。その時私は学校の寄宿舎におり、21時に点呼・消灯・就寝の厳しい規則の生活をしていました。その夜はたまたま満月のきれいな夜でした。私は矢も楯もたまず舎監の先生に見つからないよう、同室の生徒に迷惑をかけないように、寝そべったまま月の明かりを頼りに写し上げました。

この記事が私をハムに導いてくれたのです。

旧二級アマチュア無線技士の試験を目指し勉強を開始し、めでたく合格。ラッキーでした。早速、私設無線局長の夢の実現をと送信機を考えました。当時は出力管には807を使用した出力10Wが一般的でした。私も当然それと同様に考えました。

念のため電源トランス（500V 250mA）の値段を聞くと、なんと 5,000円??の高価にビックリ！！大幅な計画変更を迫られ、出力管を受信機用UZ-42に格下げ変更、出力は半分にダウンですが仕方ありません。申請書には定格出力5Wで提出しました。

そして、1954年1月28日付けでJA1TRの予備免許をいただき新生ハムの誕生、ハッピーなスタートです。

しかし、相手局からのレポートは「変調が浅い」「QROをするように」が多いことでした。ある程度は予想したことですが残念でした。

郷里新潟にQSYを機会に10Wにパワーアップし、1956年7月24日JA0GZに変更しました。

その頃と思いますが、ある無線雑誌の記事に「50WのCWで世界と交信」の記事を読み、旧一アマに挑戦を決めました。勿論電気通信術の試験の突破が必要です。「送信と受信、さらに和文と欧文」の全部に合格することが条件です。私の経験ですが、受信試験は大きい部屋に大勢集まって受けます。隣の人の書く鉛筆の音が気になったこと。さらに、送信では試験官とマンツーマン、しかも対面です。試験官は音をレシーバーで聴取すると同時に符号を印字機で見て合否を決めます。初めは誰も緊張し、手が震え上がり気味で失敗します。

回を重ねると慣れてきます Hi 中には「また来たネ」と声をかけられる受験者もありました。

合格の秘訣は簡単です。「練習の積み重ね、自信をもって実力を発揮する」だけのことです。定員何名とか上位何名が合格ではありません。あるレベル以上の実力があれば全員合格、またレベル以下であれば全員不合格の世界です。私は「柳の枝に飛びつく蛙」の言葉どおりに練習に練習を重ねて挑戦を繰り返したただけのことです。何回受験したか覚えていません Hi

ある日、郊外の山でVHFを楽しんでいた時のことです。ホームのXYLからVHFで「合格!!」のブレイクがかかりました、ハムならではの朗報を忘れられませんか Hi

実は家族4人全員ハム、しかも4人ともCW OKです。そして長男は若いだけに腕もあげ親を越してDXも稼ぎました。

現在はパワーもアップ、アンテナetcも整えました。一生かかって当初の自作5Wから夢の六大陸との交信に成功です。これからもローカル局から世界との交信も楽しみたいと思っています。とくにCWは老化防止によいトカ Hi

KCJの皆さまにはこれからもお世話になります、よろしく願います。

◎ハムに関する信条

「細く長く生命ある限りアマチュア無線を楽しむ」ことをモットーにしております。



以上

(JR2GCS 松下久二生さん)

1974年1月、プロ免許の電話級で開局しました。開局の年に電信級でCWに移行、2年目に2アマでオールバンド運用、そして、1アマを準備し 5年目に100WにQROしました。現在固定局200Wと移動局50Wを開設しております。休まず続けて39年、半生の運用でした。

「会員紹介」のテーマをいただきましたが、私は運用中の印象を紹介しようと思います。



最初のアンテナ製作

当初、FT-101BSに4バンドVerticalでローカル局とのSSB QSO、“井戸の中の蛙”的存在でした。飛び出そうとばかりに、21MHzのHB9-CVのフルサイズの自作を始め、2年目に上げる。使ってみると調子良さそう、1975/3/29、国内QSOのつもりでCQを出す。すると一発で返ってきたのは、「ZS2RD」だ。”なんと初めてのアフリカじゃないか”と飛び上がって喜んだ。QSOが終わった後、JAからその局にパイルが飛んだ。気をよくし度々、WATCH、CQを続ける。VKを始め、LU、DLなど次々とゲット、ついに短期間でWACを完成しました。その後、10ヶ月、オールバンド化でこのアンテナは姿を消すことになったが逸品でした。後に、TA33Jrを上げた。

初のモービル運用

1978 The Key にJCC/JCGの珍が発表された。その中、岐阜県海津郡は珍中の珍だとの評価。

その時期、JARLで「臨時JCGコンテスト」が行われることになる。JCC/JCGを追いかけていた小生、面白そうだ！車に機材を乗せ海津郡へ。消防団小屋に場所を見付け、半鐘塔に7MHz逆V、車内の座席にFT-101BS、車BATから電源を取り込み、狭い車内で体をねじらせながら、手打ちキーをたたく。やはり珍しいJCGなのか、休みなくQSOが続いた。休憩を取りながら5時間、120局とQSO出来た。(FT-101はDC-DCコンバーター付き、発発いらず良いRIGだ！)

後日、KCJメンバーから「珍は、がた落ちだ！！」と冷やかされた。

1.9MHz帯のフィールド運用

1979年8月のフィールドデー、常置場で運用できないバンドで参加すべきだと、1.9MHzフルサイズのワイヤを準備して出かける。場所は丘陵地帯、現場で拾った(失敬した)竹竿を立て80mの電線を引っ張る、梢に掛かりながらも何とか上がる。1.9MHz帯はにぎやかだった。隙間を見てCQを出す、FT-101BS 10Wの電波でも快調に飛ぶ様子、忙しいQSOをした。後、この参加は、東海1位の榮譽を勝ち取った。

北海道ツアーリングの思い出

2003/6 JA8コンテストの特別企画開催が発表された。「北海道に行ってみるか」思い立ったら、すぐ実行したい性分、フェリーで室蘭に行く。観光半分の目的、1日目、洞爺湖畔でモービルサービス、2日目、古平に移動、JA8コンテストに参加、3日目、積丹半島でサービス、寿都海岸でキャンプサービス、多バンド運用、国内のパイルアップを経験する。しっかりした目的のないドライブ、道なりに松前に着く、キャンプ続きで、旅館に泊まりたかった。メモした道内メンバー局に電話で聞く、JE8RKVの太田さんが”横浜”を紹介してくれた。ウニをたらふく食べ布団で寝た。そろそろホームシック、帰路は函館

に向い、途中、太田さんにお礼を言う、アイボールすることになり木古内役場前でお会いする、家まで



案内され お世話を掛けました。

函館では、フェリーの予約とれず。青函で青森へと移動しました。

山岳の携帯サービス

70才、第二の定年後、山登りを始めました。機会の度にFT-817一式、電源BAT(シールBAT)をリュックに入れて持ちます。2005年6月、岐阜県・福井県の稜線上の山(毘沙門岳 1300m)。登山口に頂上までの所用時間200分(3時間20分)の標識がある。7kgのリュックを背負い、片手に4.5mの伸縮ポールをステッキ代わりで入り込む。ファミリーコースだが稜線が長い、2時間ほど歩いたところから、7kgのリュックは肩に食い込んでくる、アルミの伸縮ポールも重くなってきた。最終の登りで10分毎の休憩、やっとの思いで頂上に着く、汗だくで裸になり、ぬれ物を干す。頂上は広い、アンテナ張りに十分だ、4.5mポールを伸ばし切換式ダイポールで、10MHzサービスする。出力5Wで1時間余り30局を楽しんだ。

QSOの一齣

(その1) VE局とのQSO ラグチューで、相手は「バケーションでヒューロン湖ほとり来ている。私はアマチュア無線の免許を取って1週間目、あなたが最初のQSO相手です。QSLカードを下さい。ダイレクトで送ります。」「ADDはWORLD CALL BOOKを参照してください」10日後、相手から航空便が届き、ラッキーでした。

(その2) VK局のラグチュー、「私は名古屋に行きました、・・・・」ここまでは受信中に理解できたが、うろっとしている内、続くメッセージがとれません、返事ができる状態になくQSOを終了してしまう。後で、書き取ったメモを読み取ると「あなたは、オーストラリアに来たことがありますか？」でした。簡単なのに！悔しい思いが残った。

機器の製作

グリッドデップメータ、1.9MHz ANT カップラー、周波数カウンター(秋月)、安定化電源5A(秋月)、

パドルの自作とエレキ、メモリーキヤー基板組立（移動用と固定用）、Z80 コンテストキヤー（ロム書込失敗）など

39 年間の実績

アワード：WAC (21MHz CW)、JCC500 (CW)、KCJA (クラスIV)、読売 C 賞

QSO:総数 36700 DX 3000 (DXCC カウント 100)
移動回数：120 回

現在 80 才、健康維持、体力保持の努力が大事な仕事です。無線も”ぼけ防止”に役立つ？ことから、できる限り続けようと思っています。近年、下呂市

に、アンテナ建設で念願だった土地（90 坪）を買いました。山腹の丘陵地帯で標高 500m、周りは開けています。シャックも建てました。そして、11mH 3.5/7MHz の逆 V も上げました。今後のアンテナ拡張は、高さは 6m 位、低くても、3 バンド 3 エレを建てるつもりです。ぼつぼつ運用ですが、今後ともよろしくお付き合いのほどお願い致します。

また、下呂の庭は広く、テントは、4、5 つ張れます。星空は綺麗ですよ！！折がありましたら、お立寄り下さい。連絡下されれば、いつでも現地に向かいます。ハイ！

ありがとうございました。

【過去の投稿記事から】

ここでは過去に会員から投稿があった記事のバックナンバーを紹介します。

【雑 記】

JE8RKV 太田富士子

無線を長いこと QRT している私が、特別号に出稿するなど、図々しいですが、どうぞお許し下さい。

私の QTH は、北海道上磯郡木古内町ですが、自慢できることといえば、自然がいっぱいで目の前の海から採れるホタテ貝をはじめとした「魚介類」、おいしい牧草を食べて育った「函館和牛」などおいしいものがたくさんあることでしょうか。

今、町の話はもっぱら、2015 年開業予定の北海道新幹線のことです。北の玄関口になるのが木古内町ですから、町作りをどうするかと議論の真っ最中では。

函館では、7 月 29 日に、140 年の時を経て「箱館奉行所」が復元されました。箱館奉行所は、幕末の開港にともない、蝦夷地の統治、警備、防衛のため、江戸幕府が設置した役所です。五稜郭はその外郭施設として、元治元年、1864 年に築造されたものです。

現在、国特別史跡となっている五稜郭は、旧幕府軍を脱走した榎本武揚や元新撰組副長、土方歳三らが夢見た「蝦夷共和国」の本拠地として知られています。

しかし、箱館戦争で激しく攻撃を受けたため、明治 4 年（1871 年）に開拓史により解体されてしまいました。以来、五稜郭は大正時代から公園となり、市民の憩いの場、私が学生時代はデートの場所として解放されてきました。

JARL 渡島・桧山支部では、7 月 17 日から 8 月 1 日まで「箱館奉行所復元記念特別局 8J8BU」を運用し、最終日には五稜郭公園入り口で移動運用も行いました。

ほかにも五稜郭では、毎年夏に、五稜郭の堀や土手を利用した、市民創作の「野外劇・五稜星の夢（ほしのゆめ）」を行い、それもすでに 23 回目を数えています。

函館を含む道南地域は、北海道の中では早くから

和人が住んでいた地域のため、北海道では唯一、「最北の城下町」でもあります。

昆布で有名な函館市南茅部地区では、縄文遺跡から「中空土偶」が発見され、国宝に指定されました。

知内町は演歌歌手の北島三郎さんの出身地であり、800 年前に甲斐の国から砂金を求めてやってきた人々が移り住んだ土地でもあります。

また、横綱千代の富士（現・九重親方）の故郷、福島町は、江戸時代に隠れキリシタンを弾圧した処



刑場が、今も鎮魂の地として毎年、ミサが行われています。

無線と全く関係のないことを長々と書いてしまいました。

私、無線はしばし休暇を取っていますが、やめるつもりはありません。なぜなら無線は私の大切な趣味の一つだからです。もちろん、KCJ の会員も除名にならない限り続けたいと考えています。

KCJ の将来はあまり明るくはないのですが、これは「時代の流れ」です。言葉を換えれば、通信手段がアマ無線から携帯電話に変わっただけだと思っています。第一管区海上保安部の無線室におじゃましたことがあります、無線のプロでさえ CW は実際にやったことがなく、私があこがれていた通信士とは少し違ったものでした。携帯電話と同じように、

好きな手段で、好きな人と、気の合う人と交流を図る、KCJ もこれでいいんじゃないかなあ、と思っています。

最後になりましたが、南北海道、いいところ、ビールは旨いし、肴もいい「一度来てみればいいしょ」。

[私と CW]

JA1COP/JA40EY 佐々木広武

1970 年(昭和 45 年)、中学校に入学した私はすぐに無線部 JA4YFN に入部した。巨大な竹竿で高々と上げられた 40m 長ダブレッドアンテナから、はしごケーブルが引き込まれた部室のテーブルには、カッコいい真空管式通信機がいくつか並べられていて、ヘッドホンとマイクが置いてある。そこは想像の世界にあった地球防衛軍の指令基地。それからまもなく、私はアマチュア無線の虜となった。

恩師は JA5AKF。先輩には JA4IMO、JA4KHP、JA4LWU・・・。入部してすぐの夏休みの宿題はキット VFO-1 の組み立てだ。それまで水晶しかなかった TX-88A では f ズレでの QSO はあたりまえ。どの局も CQ 後はバンド内をくまなく探して応答局を見つける。セパレートリグではそんな交信が当たり前だった。受信機は 9R-59D に手作りの CR カップラーだ。憧れのリグはもちろん、599 ラインと 400 ラインである。



同年夏休みに電話級を取得。年末に父親が月賦で購入してくれた TS-511X とエコー 8G で開局し、7MHz にて初めて個人コールを送話した。地元 2 局目の民報、岡山放送(JOOH-TV)が開局する前、沖縄はまだ KR8 だった。以来、今年で開局 40 年を迎える。中学 3 年(1972 年)には電信級を取得。ただし、当時は電信級も 10W。高校 JA4YDC に入学したあと、2 アマを取得。卒業後に和文を覚えて 1 アマを取得、その後はプロの資格を取得した。

CW を本格的に始めたのはコンテストの影響が大きい。JA4YDC は当時コンテスト常勝局であったが、勝つためには CW での交信が不可欠。記号と数字の交換はハイスピードであっても予測がつ

く通報であるため、聞き取り能力を上げるのには最高の練習となった。実際、CW に慣れるには、普通の CW QSO よりも先に、コンテストの交信を実践する方が効果的だ。これは持論。

高校生のころ、第 1 次アマチュア無線ブームが訪れた。AM-3D、TR-2200 など 50MHz と 144MHz で安価な小型 FM トランシーバが各社から発売されると、市内(当時は 3104 玉野市)のあちこちに固定 GP が出没。こんな地方でもラグチューなるものが全盛となった。そうすると急に個人のうっとうしい人間関係が勃発する。「あいつはオーバーパワーだ」「あの局がかぶせてきた」と本来の無線通信の楽しみがどんどん薄くなる。「アマチュア無線は実験だ!」このことを忘れるとこの趣味は絶対に長続きしない。

CW はそんなうっとうしい無線界の人間関係を一扫してくれる。シンプルで卓越した略号と Q 符号中心の通信。しかも万国共通で最低限だけの意思疎通が 26 文字と数字だけでできる。しかも送り方で個性、一瞬の間合いに人間性も出せる。こんなにすばらしい通信手段は他に無い。ラバースタンプ QSO も CW らしいすばらしい通信手法で、これが非難される謂れはみじんも無い。なぜなら、電波法では不要の通報を禁じている。ダラダラたわいもない内容を交わす必要は無線通信には必要ない。サヨナラを打つのに平文も不要。73 だけで十分だ。「そんなことは有線で話せ」これは昔も今も変わらない。

こんな自分も最近では同好の志を持つ仲間との交流が楽しい。全国 CW 同好会(KCJ)は 35 年の歴史ある組織であるが、入会当時は年齢制限と CW 経験年数、それに推薦人 2 名の推薦がなければ入れなかった。入会してもめったな発言はできないので、当分の間は会報をながめるだけ。主催の KCJ コンテストは、当初から全ログの突合がされるとい気が遠くなるような努力がなされ、厳粛な審査が実施された。この精神は今も受け継がれ、会の内部では時に厳しい意見も噴出するが、CW を通じて秩序あるアマチュア無線界のリーダー的な存在であろうとする現われだと思ふ。現在は入会審査も簡略化され、未成年でも経験年数が浅くても入会できる。より広い人材が入会し、新しい形の KCJ になって継承していくことが今の KCJ には必要である。

現代は、技術的にはパソコンが、出会い的にはインターネットが、アウトドアでは携帯電話が全盛である。この趣味は、私がかつて経験したような感動を同じように若い世代に感じてもらうこ

とはできない。
しかし、この趣味を楽しんでいる仲間が世界中に
いる限り、この古くて新しい CW を長く楽しみ続

けたい。そのための仲間は大切にしたいと思っ
ている。

【遙かなる『道の駅』】

JR3XEX 伊達寿夫



2010 年 5 月 22 日
(土) 午後 3 時、巨
大な架け橋「明石海
峡大橋」の淡路側直
下の静かな波打ち際
に私はいた。静かな
海岸から糸を垂れる
釣り人が数人。沖合にはおもちゃのような船の往
来。下り坂に向かう天候で、対岸の明石市方面は
もう霞んでいる。うろこをくねらせながら雲の中
に潜り込んでいく巨龍を思わせる。ときたま「ガ
ーン、ガーン」と不気味な轟音が天から降って
くるようだ。道の駅兵庫 14 番「あわじ」。ひとし
おの感慨を持って立ち尽くしていた。

2008 年

思えば、2008 年 5 月 18 日 (日) 兵庫県豊岡市



日高町兵庫 5 番「神
鍋高原」からスタ
ートした JR3XEX 道
の駅 QRV ラリー。
居住する京都府は
すでに完了したの
で、お隣の兵庫県
を目指した。ご存

知この県は近畿最大の面積を持ち、日本海から太
平洋（瀬戸内海）淡路島を含み、道の駅は 30 ケ
所。JR3KQJ を始め KCJ メンバーも多い。当初、1
日に 2 ケ所を予定していたので、早々に蘇武トン
ネルを越えて美方郡香美町兵庫 6 番「村岡ファ
ームガーデン」日本一の但馬牛焼肉のにおいっぱ
いの「道の駅」だった。

その後、一週間ごとに同一方面、兵庫 20 番「あ
ゆの里矢田川」、兵庫 13 番「ハチ北」、朝来市
兵庫 3 番「あさ
ご」1 エリアの
OM のリクエスト
にお応えしての
QRV。5 月 31 日
で春の移動は終了。
なにせ車の中は
暑い・・・日帰
りに徹している



のでどうしても時間的に制限される。

10 月 4 日 (土) 秋の移動開始。兵庫 29 番の「よ
うか但馬蔵」。この時点で最新の道の駅。大きな
駐車場にきれいな建物、特筆すべきは「温泉の足
湯」だ。

11 月 3 日 (祝) 兵庫 8 番「但馬楽座」、11 月 9
日 (日) 兵庫 7 番「やぶ」。

ここまで国道 9 号線沿線の各駅は、自宅から 1 時
間程度なので気楽に来れる。

11 月 15 日 (土) 抜けるような青空の秋の一日。
朝来市兵庫 28 番「但馬のまほろば」。高速道路
のサービスエリアにあるきらきらと輝くような
建物。晩秋の観光客でいっぱいだった。大きな駐
車場はなんの遠慮もなく QRV できる。北近畿豊岡
道を一路、丹波市へ。兵庫 12 番「あおがき」。
日もだいぶ傾き始めたが、行楽帰りの車でいっぱ
いの駐車場に場所探しが大変。帰りに走った直線
道路のイチョウ並木が黄金色に輝き、真っ青な空
に映え秋の終わりを告げていた。

2009 年

2009 年 3 月 7 日 (土) この冬は雪も少なく、春
らしくなってきたので移動開始。多可郡多可町、
兵庫 11 番 11 番「R427 かみ」。播州峠を南に越え
ると加古川の源流。V字に切れ込んだ道をひたす
ら下る。初めて

走る道にナビが心強い。こんな山の中で電波は飛
ぶのか？でも杞憂だっ
た。HF はこうだから面
白い。珍なのか呼ばれ
続けた。レジのお嬢さ
んが美人なのは、仲間
の JA3*** から聞いて
いた。後日、携帯で「お
嬢さんと握手してきた
」と言ってやったら、
焦っていた・・・

3 月 15 日 (日) 朝来
市兵庫 18 番「フレッ
シュあさご」、29 日 (日)
丹波市兵庫 27 番「丹波おばあちゃんの里」、4 月
に入り 18 日 (土) 三木市兵庫 15 番「みき」、西
脇市兵庫 24 番「北はりまエコミュージアム」。
この日は、ローカル局と 2 人で新緑の播磨路へ。
彼、JR3*** は 3 アマで CW もできるのだがもっぱ
ら観光。ツツジが満開の「みき」。彼は趣味の植
木用ハサミを買っていた。西脇では、久々に 3.5



メガ QRV。17 時ころまで QRV、彼の運転で帰宅したのは暗くなってからだった。

29 日（祝）神戸市北区兵庫 26 番「淡河」（おうご）。ここも 1 エリア 0M のリクエスト。どんどん自宅から遠くなる。狭い上に斜面の駐車場からは早々に退散、加東市兵庫 21 番「とうじょう」へ向かった。新緑の中ナビ任せ、ゆるやかな起伏が続く。中国道吉川インター出入り口にあり、広い広い駐車場で、10 メガを快調に飛ばしていると突然の来客。「電信ですか？よく飛びますか？」

「はあ、まあまあ・・・」「私もアンテナの試験にと思って、今来たんですけど」「・・・」「一度これ使ってみませんか？」「えっ？はあ・・・」釣竿の先にコイルを巻いた全長 4m 以上はあるうか、かなりよくできたホイップだった。



「どうですか？」「う～ん、さすが長いだけよく聞こえよく飛びますね」「そうでしょう」。彼は満足そうであった。コンディションが抜群によかったのだからお世辞も言っておいた。コールを訊くと JA3*** とのこと、CW での私の交信実績はなかった。何度も道の駅に來ているが、バッティングしたのは初めてだ。日が長くなり、高速道路の近くなので結構遅くまで楽しめた。

5 月 9 日（土）宍粟市兵庫 1 番「はが」、兵庫 9 番「みなみ波賀」兵庫県の中西部へ。R9 をひたすら西へ、養父市大屋町から「若杉峠」を越える。ものすごい峠だ。下りたところが R29、姫路から鳥取へ抜ける幹線道路。右へとれば天下の険「戸倉峠」へつづく。

左折して揖保川の源流を南へ下る。途中「音水湖」というきれいな名前のダム湖がある。新緑の V 字谷のど真ん中に 1 番があった。だれもいないかと思



うほど静かな道の駅。R29 も中国道から鳥取道が現在の主流らしい。緑と水色に染まるような 1 日だった。

9 月 22 日（祝）川辺郡猪名川町兵庫 22 番「いながわ」。中国道丹南篠山から一般道を南下。文字通り猪名川に沿って下ると連休でいっぱい道の駅。ガードマンの指示で駐車場

へ入るのに 30 分かかった。

10 月 31 日（土）宍粟市兵庫 17 番「播磨いちのみや」、兵庫 2 番「やまざき」。先月の R29 を南から北上する。だんだん自宅からは遠くなってきた。R29 には合計 4 つもあり、それが全部宍粟市である。JCC2728 も打ち飽きた。Hi

11 月 7 日（土）さらに兵庫県の最西部へ。みなさん、ここまで読んでいただいて、「よくまあ、懲りずに・・・」とお思いでしょう。我ながら「はまってしまった道の駅行脚」、家庭でもブーイングも起きかけている。今回は家内同乗にての QRV。またまた、宍粟市兵庫 4 番「ちくさ」、佐用郡佐用町兵庫 19 番「宿場町ひらふく」。



紅葉狩りとか適当な理由をつけて先日の「若杉峠」R29 を南下、更に西へひと山越え千種川中流に駅はあった。秋も深まり、静かな「ちくさ」は人影も

まばら。もひとつ西へ、8 月 10 日未明大雨で大きな被害を出した佐用町へ入る。山々の木々がなぎ倒され、河川敷はまだ泥のまま、田も畑もあともない。平福は因幡街道の宿場町で土蔵がたくさんある古い町並みだ。家内サービスなので、さらっと流し帰途につく。

買物好きの家内は、野菜をしこたま買って車内はいっぱい。中国道佐用から福崎 JCT、播但道を北上と思いきや「あれ？夕日が右手に見える。ってことは南に向かっている」太陽の位置で方角を知るとは私は原始人か・・・結局、姫路近くまで南下して U ターン。播但道では「フレッシュあさご」で近所へのお土産お買いもの。北近畿豊岡道「但馬のまほろば」では明日のパン購入。「おとうさん、ここのスタンプもう押してある？」「とっくに・・・」もう短い秋の日とはとっぴり暮れてしまった。「帰り道にはまだ道の駅あるよ」。R9 の「農匠の郷やくの」、わが町の「シルクのまち かや」。「もう買うものない」と言いながら「さっきの所の方が安かった」だって。

11 月 23 日（祝）いよいよ兵庫道の駅も大詰め。南西部に残った 2 ヶ所を、今日も JR3*** と珍道中に出かける。相生市兵庫 25 番「あい



おい白龍城」、たつの市兵庫 10 番「しんぐう」。絶好の好天だ。何度走ったか、北近畿豊岡道の山東入口から播但道、姫路東から山陽道。相生は造船の町、対岸に IHI の巨大クレーンが見える。白龍城は「ペーロン城」と読むらしい。香港か台湾を思わせるきらびやかな建物。駐車場は秋の産業祭か、ものすごい人出と数あるテント。イカ焼きや歌手のイベントなどごった返していた。数ある駅の中、私的には印象深い場所だった。海岸で釣りのおっちゃんに、「何がつれます?」「いやあ、駄目ですね」と言いながら結構楽しそう。「ところでおたく達は何しに相生へ?」「釣りに・・・」「どこでやってるの?」「あそこ」といってモバイルホイップを指さし「空から降ってくるものを釣ってる」「・・・?」



一路海岸通りを東へと向かう。曲がりくねった道だが、右手にきらきら輝く瀬戸内の海を眺め、遠く小豆島、近くに家島群島を見て快適に飛ばす。

途中、既に新道の駅として登録はされたがまだ工事中の、兵庫 30 番「みつ」があった。南向きの高台にあり完成したらいち早く来たい。大きな揖保川の岸边を北上「しんぐう」へ到着。こじんまりした駅だった。遅い昼食をとって、ちょっとやって 15 時 QRT。北上して中国道山崎からいつものルートで帰途につく。秋の日はつるべ落とし、運転手交代してもらって 18 時帰着。これで今年の兵庫は終了。

2010 年

2010 年 3 月 14 日（日）いよいよあと 4 つを残すのみ 3 つは淡路島だから最終日に行くとして、「みつ」が 1 つだけもったいない。てなわけでもたしても家内の出番となるわけだ。世界遺産姫路城が平成の大修理に入るということで見たい、と。それでは、ということで二人して出かけ、播但道香寺で家内を下ろし JR で姫路へ入れと指示。私は山陽道から相生経由で「みつ」へ。案の定、美しい海岸線は行楽客で大渋滞。駐車場へガードマンの誘導でようやく入場。ところが、正面玄関のまん前、ガードマンのおっちゃんに「あっちの端っぽのほうあかんか?」

「勘弁してよ、今日はこんな状況なんで・・・」汗をふきふき頑張っていたので我慢することにした。真新しい「みつ」はご覧のように、チベットのポタラ宮がエーゲ海の崖の上にあるような（行ったことないけど）たたずまい。目の

前の白砂の浜は子供連れが楽しそうに遊んでいる。ちらし寿司のお昼をパラソルの下でいただいて、今日は家にいる JR3*** にテレビ電話。本当に一人でいるのはもったいないくらいの景色だった。14 時、110 QSO にて QRT。家内を迎えに姫路城へ向かった。

5 月 22 日
(土) 淡路島 へ。

JR3*** と一緒に朝 6 時半出発梅雨前の好天の一日、おっさん二人の珍道中もいよいよ佳境に達するのだ。舞鶴道、中国道、山陽道、淡路

道をノンストップで飛ばす。6 月から土・日 1000 円が無くなるとのことでラストチャンスだ。2 時間で明石海峡大橋を渡り、淡路 SA へ 8 時 30 分着。ちょっと休憩。今日は、南あわじ市兵庫 16 番「うずしお」、淡路市兵庫 23 番「東浦ターミナルパーク」、そしてオーラス

は兵庫 14 番「あわじ」。午前 9 時 40 分「うずしお」から第一声（一信）目の前に鳴門のうず潮を眺めながらの抜群のロケーション。すぐ横は大鳴門橋、向こうに見えるは徳島県だ。高さ 50m の上をおもちゃのような車が走っている。絶景の中、ハワイの様な（行ったことはある）樹林の中をしばらく歩くと小さな道の駅。どこことなく南国の香りが



漂い、いかにも遠くへ来たという感じだ。しかし暑い・・・ 50 QSO で名残惜しいが次へ移動。「東浦ターミナルパーク」バスターミナルが道の駅になっていた。急ぎ 50 QSO でいよいよラストシーンへ。一般道はえらい警備が厳しい。この日は「淡路花回廊」に、皇室がお見えになっていたらしい。「あわじ」は本当に明石海峡大橋の真下にあった。臨時駐車場の矢印にそって車を入ると、大きな芝生の庭の海べりにでた。巨大つり橋を支えるワイヤーを固定するコンクリートの塊には度肝を抜かれた。QSO は快調に進む。目の前の神戸や大阪湾岸の局が強い。海のすぐそばなのだろうか？ 思えばこの3年間、山深い地、大都会の地、海

のそばの地、滴るような緑の中を、黄金に染まる田園の中を、金波銀波の渚を、日帰りで 30 ヶ所を巡ってきた。たくさんの局から呼ばれ、全国に仲間ができた。あらためてこの趣味を貫いてきて幸せに思う。いつもサポートしてくれた JA3***、移動につき合ってくれたローカル局の JR3***、家内（一応アマチュア局）そして文句も言わずに働いてくれた愛車、トランシーバ、アンテナ、エレキー諸君、ありがとう。巻頭へ続く・・・

全国CW同好会（KCJ）のしおり

入会を希望される方へ

全国CW同好会は、CW QSOを通じてお互いの友情を温めあい、同時に CW 通信技術を高めるために努力しています。ハムの中で、もっともハムらしいハムと自負している人たちの集まりで、全国におよそ160人の会員がいます。

会の略称[KCJ]のフルネームは [Keymen's Club of Japan]と称します。Key とは、私たちとは切っても切れない縁の深い電鍵であり、また“重要人物”という意味が含まれています。メンバーの一人ひとりが、良きCWマンであり、同時にアマチュア無線界の Keystone を守る人物でありたいと願いをこめて命名されました。

メンバーは、それぞれの地域でアマチュア無線活性化のために活動するとともに、自分でCWの面白さを見つけ、長くCWを楽しみたいと考える人たちが集まった会です。

CWは通信の原点であり、電波が存在すれば、それを断続するだけで通信ができ、もっとも単純でありながら、もっとも確実な通信方法です。電波が飛んで行く、通信ができるというアマチュア無線の根底にある素朴な興味を満足させてくれます。

ご承知のとおり、CWは電話にくらべると通信の能率は悪く、意思の伝達に苦勞することがあることも事実です。その欠点をカバーするために、簡潔な通信文を工夫してつづります。その通信文を解説し、相手が伝えようとしている内容を読みとり、符号に乗って伝わってくる相手の気持ちに触れることができます。これは推理や想像を楽しむ、ひとつの知的なゲームとしての面白さがあり、これこそ他の通信方法とは異なったCW通信の醍醐味だと言われています。

アマチュア無線に興味をもつ人は、いつの時代にも少なくありません。日本では周知のように、世界に先駆けてノーコードライセンスを導入したことにより、アマチュア無線への入門の道が広がった反面、CWを知らないハムも多くなっています。いつときの興味でアマチュア無線を始めたり、その中でCWも一つのモードとして関心を持ったりというだけでなく、通信の原点でもあるこのCWをいつまでも大好きで、生涯、腕を磨くテーマのひとつにしようという考えの方々を本会は歓迎しています。

このように本会は、CWが好きな人の集まりですが、アマチュア無線のさまざまな楽しみ方を否定するものではありません。いまや多くの電波型式が許可されているアマチュア無線界ですから、いろいろな分野にパイオニア精神を発揮するのも結構です。しかし、結局はCWの面白さを認識された人たちが、いつかはここに集まってくるのではないかと考えています。

全国CW同好会の活動について

CWをより身近に、そしてエキサイティングなものとするために、ハムライフの中でCW QSOのいろいろな楽しみかたについて、多少のヒントを提供しています。また、本会が広くCW通信の発展にどのように貢献しているかを、具体的な事業を通して理解を深めていただきたいと思います。

そのいくつかの事業を紹介します。

(1) アワード[KCJA]の発行

本会はユニークなアワード[KCJA]を発行しています。ネーミングは”Keymen's Century of Japan”で、また、KCJ Awardとも読めます。アワードルールは、単純明快で、マルチバンドで、のべ100都道府県とCWでQSOするというものです。

また、KCJ発足25周年を契機にKCJAルールを一部改定しました。KCJA申請にあたって、QSLカードを提出していただくことを原則にしてきましたが、これまでの実績からQSLカードの正確な表記について、認識が十分に浸透したと考えますので、QSLカードの提出義務を原則的に廃止し自己宣誓方式に改めました。また、上位への挑戦意欲を持続していただくため、400点以上の申請は25点刻み、600点以上の申請は10点刻みに変更し、併せてステッカー制度を採用しました。

(2) CWコンテストの主催

毎年8月に、本会主催で[KCJコンテスト]を行っています。このコンテストの目的は、互いに確実なCW通信を通してCW送受信技術の向上を図り、かつCW愛好者の親睦を深め、併せてコンテストにおけるフェアプレー精神を高揚することにあります。

また、本会主催のコンテストの大きな特徴は、提出されたログを全数コンピュータで審査し、双方のログの記載内容が一致した場合に限って双方に得点を与えるという規則にあります。

ログを提出しない局とのQSOは得点になりません。ログを提出したからといっても、記載・転記ミスなどがあると、審査の段階で双方のログが一致せず、自分も得点できないし、相手にも得点を与えられないこととなります。得点を競う競技におけるフェアプレーとは、ルールにのっとって参加し自分も得点し、かつ相手にも迷惑をかけないことです。

ログ審査プログラムは、会員の間で議論を重ね、改善が行われた結晶です。また、近年はE-mailやFDでのログ提出を推進するなど、参加する人が自分のログをきちんとチェックして整理してあれば、合理的で公平な審査ができるようになっていきます。

毎年2月に、本会主催で[KCJトップバンドコンテスト]を行っています。1.9MHz帯の狭いバンド幅でもコンテスト実施が可能な独特のルールで、KCJトップバンドコンテストを行ってきましたが、2000年に1.8MHz帯の開放があり、バンド幅は一挙に倍増しました。このため、KCJトップバンドコンテストルールを大幅に見直し、1.8と1.9MHzの両周波数帯を使用できることとし、この機会にDX局の参加を可能にしました。

アワードもコンテストも、一種のスポーツであり遊びにすぎないことですが、そこにも守るべきルールがあります。誰もが容易に電波を出せる時代になっても、アマチュア無線の楽しさとは、規律とけじめを前提にしてこそ意味がある、と本会は考えています。

(3) 都道府県・北海道支庁の略称の制定

私たちは、CW通信で省略されたつづり文字から、もとの語が何であったかを推察し、その意味を理解するということを、日常よく行っています。短い略称から、都道府県名などが容易に推察できるように、既成のコードとしてあった漁船の船籍都道府県名を示す符号をもとに、多少手を加えてKCJ独自のものを制定しました。このコードは、KCJが主催するコンテストで交換するナンバーに使っています。CW通信にセンスあふれる略語として、目常のQSOでQTHの表示にどんどん使って欲しいと思っています。また、他のコンテストのナンバーなどにも利用していただけることを願っています。

(4) KCJホームページの公開

会員向けの会報[ザ・キー]の発行以外に、KCJ活動内容を内外に知らせるため、KCJホームページ(<http://www.kcj-cw.com>)を作成しています。会の活動に興味と関心をお持ちの方は、一度アクセスされますようお勧めします。

(5) その他の活動

通信の原点ということは、アマチュア無線発祥のころの手づくりの通信という意味があって、今日でもCWは自作の入る余地のある分野です。本会会員の多くは、自分の無線機を何か自作した経験があり、自作するアマチュア精神は、QRP機に凝縮されています。その記録にいどむ人もあれば、コンテストやアワードハントに巧みな人もいます。また、各バンドでヌシのように活躍している人、移動運用に熱心な人、DXをバリバリ稼いでいる人もいれば、もっぱら外国の電波の旅情を楽しんでいる人もいます。コンピュータとCWの接点を求めて、独自の活動をしている人もいます。地域でCW通信の指導に熱心な人もいます。

そんなエキスパートたちを、根底で結んでいるのがCWです。物質文明全盛の時代は、アマチュア無線もその例外ではなく、画像通信、衛星通信さえも手軽にメーカー製の機械を使って行われるようになりました。電波は飛んであたりまえ、聞こえて当然という風潮が生まれ、この趣味の存在する根底がゆらぎ始めたのではないかとさえ思われます。しかし、自分で努力して符号を覚え、自分でキーを操作してはじめて可能になるCW通信には、何か自分でやらなければならないという、古き良き時代のアマチュア精神が温存されているように思います。

CWはこの先、アマチュア無線の世界にしか残らないことになりましたが、自分の出した電波がはるばる飛んで行くことに対する素朴な興味と驚きを感じる感性豊かな人が絶えない限り、アマチ

ユア無線のCWは存在し続けることでしょ

う。CW同好会が、将来ただの[CW保存会]になっ
てしまうことを嘆く声も聞かれます。しかし、それが
死んで博物館に置かれるような保存ではなく、そ
の電波が原始的ではあるが、確実な通信の手段と
して世界を飛びまわっている[動態保存]であれ
ば、これは愉快的なことではないでしょうか。その
ためにも、本会は、“下手の横好き”の会ではな
く、“好きこそものの上手”の会でなくてはなら
ないと思っています。

全国CW同好会への入会について

入会資格は、**個人局で、CW免許を保有して
いることが必要条件**です。

「KCJ入会申込書」に、ご自身のアマチュア無線
活動歴や、アマチュア無線やCWについてのお考え
と自己紹介をお書きください。入会申込書が届い
たとき、会から若干の質問をさせていただくかも
しれませんがご理解ください。

会員はハムである以前に、よき社会人であるこ
とを強調しています。入会して、何か特別な利益
があるという会ではありません。どの会員もボラ
ンティア精神を基に、会の運営に協力することが
前提とされています。

本会会員は、電波法規の遵守はもちろん、アマ
チュア無線のよき習慣を不文律として守るこ
とをモットーにしています。また、会員になられて
からは、会の主催するコンテストに参加されたと
きは、主催者側の一員として必ずログを提出する
ことを心がけていただきます。

長い生涯のうちには、いろいろな事情で好きな
アマチュア無線から遠ざからなくてはならない
こともあるでしょう。そのようにアクティビティ
の落ちた時期にあってもアマチュア無線とCW
には関心をもち続け、本会会員であることに意義
を感じ引き続き在籍していただきたいと思います。

そうした事柄すべてを含めてライフホビーと
いうものだと私たちは考えており、このような考
えにご賛同いただける方に入会していただける
ことを心から望んでいます。

入会申込方法

会員担当に、SASE(長型3号(A4三つ折り)の封
筒に返信宛先を書いて90円切手を貼ったもの)を
送って、入会申込書を取り寄せてください。入会
申込書はE-mailでのご請求にも対応可能ですし、

KCJ-Webからダウンロードすることも可能です。

送付先: 〒174-0046 東京都 板橋区

蓮根 1-1-22-205

JA7QLP/1 工藤 博昭

(E-mail: kcj-mem2(a)kcj-cw.com)

次に、入会申込書に必要事項を記入してKCJ会
長に提出してください。入会申請書への記入は自
筆でお願いしますが、PDF やTIF の添付ファイル
をメールで送付していただいても結構です。

送付先: 〒668-0821 兵庫県 豊岡市

市場 602-1

JR3KQJ 中島 昌己

(E-mail: kcj-p(a)kcj-cw.com)

入会承認書が届いたら、所定の会費を納めて、
貴局もKCJの一員となります。

